

施設ご利用における主催者様へのお願い

施設のご利用にあたっては、国（新型コロナウイルス感染症対策本部）が示す「開催制限の段階的緩和の目安」並びに、公益社団法人全国公立文化施設協会が示す「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」等に基づき、必要な感染拡大防止策にご協力をお願いします。主な内容は以下のとおりです。

■施設としての取り組み

- ① 3つの密（密閉・密集・密接）を避ける
 - ・法令基準を満たす機械換気の実施
 - ・お客様が身体的距離をとりやすいよう、受付、インフォメーション等の床に立ち位置を明示
 - ・施設利用者の皆さまに対し、施設内での3つの密を避けるよう要請
 - ・対面での飲食や会話を回避するよう表示を掲出
- ② 衛生対策等
 - ・施設入口及び館内に手指消毒液を設置
 - ・館内ドア、手すり、テーブル、イスなど、お客様の手が触れる箇所などの消毒や清掃を徹底
 - ・お客様にマスク着用、消毒や手洗いの呼びかけ
 - ・発熱又は風邪の症状がある方への来館自粛を呼びかけ
 - ・劇場内（客席・ドア・手すり・床）への抗菌コートの施工
 - ・受付窓口にアクリル板の設置
 - ・スタッフはマスクを着用して対応。また、手洗い・手指の消毒および体調管理を励行
- ③ 以下サービスの停止
 - ・ウォータークーラーの使用
 - ・ハンドドライヤーの使用
- ④ その他
 - ・各施設にて「はままつ LINE コロナ見守りシステム」を登録し、QRコードを掲出

■公演主催者をお願いする具体的な感染防止対策

周知・広報	<ul style="list-style-type: none">▶ 感染予防のため、来場者に対し以下について周知<ul style="list-style-type: none">・マスク着用、手洗い・手指の消毒の徹底・社会的距離（ソーシャルディスタンス）の確保の徹底・来場前の検温の実施の要請・発熱のほか下記の症状に該当する場合、来場を控えることへの要請 咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁、鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐・場内における会話を控えることへの協力要請・プレゼント、差し入れ等は控えることへの協力要請・入待ち、出待ち、面会等を控えることへの協力要請▶ 接触確認アプリ等を活用する場合、その旨を事前に周知
-------	--

<p>入場制限</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 密集を回避する方策や密接な状態を発生させない工夫の導入 〈例〉日時や座席の指定予約による人数調整 ▶ 以下の場合には、入場しないよう要請 <ul style="list-style-type: none"> ① 検温の結果、37.5度以上の発熱があった場合 ② 咳・咽頭痛などの症状がある場合 ③ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合 ④ 過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴及び該当在住者との濃厚接触者がある場合 等 <p>※来場者が多数になると見込まれる公演については、静岡県及び浜松市において示される対応に基づき、実施の可否及び実施する際の感染予防措置について対応を検討してください。</p> <p>静岡県：https://www.pref.shizuoka.jp/kinkyu/covid-19.html 浜松市：https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/koho2/emergency/korona.html</p> <p>※高齢者や持病のある方が多数来場することが見込まれる公演については、感染した場合の重症化リスクが高いことから、より慎重な対応を検討してください。</p>
<p>来場者との関係</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 公演ごとに来場者の氏名及び緊急連絡先を把握 〈例〉チケット半券に来場者自身の氏名・電話番号を事前に記載してもらうなど <p>※来場者に対して、来場者から感染者が発生した場合など、必要に応じて情報が保健所等の公的機関へ提供され得ることを事前に周知してください。</p>
<p>公演関係者との関係</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 氏名及び緊急連絡先を把握 ▶ 各種ガイドライン及びこれを踏まえた現場の対応方針の周知徹底 <p>※公演関係者に対して、必要に応じて情報が保健所等の公的機関へ提供され得ることを事前に周知してください。</p>
<p>公演関係者の感染防止対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 各自検温を行い、37.5℃以上または発熱の自覚がある場合には自宅待機とする。さらに、発熱のほか下記症状に該当する場合も自宅待機を促す。 咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁、鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐 ▶ 舞台上での接触感染や飛沫感染を防ぐための対策を講じる 〈例〉・表現上困難な場合を除きマスク着用 ・出演者間で十分な間隔を確保 ▶ 来場者と接触するような演出（声援を惹起する、来場者をステージに上げる、ハイタッチをする 等）は行わない ▶ 仕込み・リハーサル・撤去等において、十分な時間の設定 ▶ ピアノ・打楽器等、共有楽器使用時の手指消毒、手洗いの励行 ▶ 管楽器等の音出し時、手入れ時に発生する結露水の適切な処理 ▶ 機材や備品、用具等の取扱い者を選定し、不特定者の共有を制限 ▶ その他、稽古や仕込み・撤去等においても密な空間の防止に努め、十分な感染防止措置を講ずる

観客席における 感染防止対策	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 政府（新型コロナウイルス感染症対策本部）が示す「段階的緩和の目安」に則った収容人数とする ▶ 適切に感染予防対策がとれる席配置を行う <ul style="list-style-type: none"> 〈例〉・指定席にする <ul style="list-style-type: none"> ・最前列席は舞台前から十分な距離を取る ・前後左右を空けた席配置とする ▶ 換気のため、外気を取り入れた空調運転（有料）の実施
チケット販売	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 対面の場合、アクリル板等により購買者との間を遮断する工夫 ▶ 行列になる場合は、十分な間隔を空けて整列 <ul style="list-style-type: none"> ※行列がロビー内に収まらない場合、屋外（敷地内）をご利用ください。
来場者の入場時 の対応	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 会場入り口に手指消毒用の消毒液を設置 ▶ 以下の場合には、入場しないよう要請 <ol style="list-style-type: none"> ① 検温の結果、37.5 度以上の発熱があった場合 ② 咳・咽頭痛などの症状がある場合 ③ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合 ④ 過去 2 週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴及び該当在住者との濃厚接触者がある場合 等 ▶ 密集を回避する方策 <ul style="list-style-type: none"> 〈例〉・余裕を持った入場時間の設定 <ul style="list-style-type: none"> ・ゾーンごとの時間差での入場 ・入場列は十分な間隔を空けて整列 ※行列がロビー内に収まらない場合、屋外（敷地内）をご利用ください。 ▶ 入場時の接触を回避する工夫 <ul style="list-style-type: none"> 〈例〉・入場時のチケット確認（もぎり）は、来場者が自分で半券を切って箱に入れ、公演主催者がそれを目視で確認する方式を取る <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット・チラシ・アンケート等の配布物は手渡しでの配布を避ける ▶ オペラグラス等の貸出がある場合は、十分な消毒を行った上で貸出
休憩時の対応	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 密集を回避する方策や密接な状況を発生させない工夫 <ul style="list-style-type: none"> 〈例〉・休憩時間の延長 <ul style="list-style-type: none"> ・ロビーや休憩スペースでは人と人との距離を十分に確保 ・トイレの待機列は、十分な間隔を空けて整列 ・場内における会話を控えていただくことの周知
来場者の退場時 の対応	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 密集を回避する方策や密接な状況を発生させない工夫 <ul style="list-style-type: none"> 〈例〉・余裕を持った退場時間の設定 <ul style="list-style-type: none"> ・ゾーンごとの時間差での退場 ・非常口扉の開放による導線の分散 ・出待ちや面会等は控えるよう要請 など
楽屋・控室 リハーサル室	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 室内が密にならないよう使用を工夫 ▶ 使い捨て紙皿やコップの使用 ▶ ピアノ・打楽器等、共有楽器使用時の手指消毒、手洗いの励行 ▶ 管楽器等の音出し時、手入れ時に発生する結露水の適切な処理

物販	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 現金の取扱いをできるだけ減らしたオンライン販売やキャッシュレス決済の検討 ▶ 行列になる場合は、十分な間隔を空けて整列 ▶ 物販に関わるスタッフは、マスクの着用等を徹底 ▶ 対面販売の場合、アクリル板等により購買者との間を遮断する工夫 ▶ 多くの者が触れるサンプル品・見本の取扱いを避ける
公演後の対策	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 感染が疑われるものが出た場合、保健所等の公的機関による聞き取りに協力し、必要な情報を提供 <p>※個人情報保護の観点から、名簿等の保管には十分な対策を講じてください。</p>